

櫻だより



氷見市立北部中学校
校長室から
令和6年6月21日

面倒くさい

所ジョージさんの言葉

トイレットペーパー替えるタイミングが回ってきたら嬉しい
こんな面倒くさいこと、他の人にさせないで自分ができるなんてラッキーだ
よくぞ俺に回ってきたって
これで後の人が嫌な思いをしなくて済む
神様みたいだな、俺は



自分には、トイレットペーパーを替えなくて済めばラッキーと思っていた頃が確かにあった。けど、最近は自分で進んで替えるようにしている。

トイレットペーパーが2個セットしてあるところでは、少ない方から使うようにしている。無くなれば、替えていけばいいだけだ。

所さんの領域（神の領域）には、到達していないが、所さんと同じことをしていると知り得ただけでもなんだか嬉しい。だから自分も神様みたいと思うことにしよう。

こんな風に考えられるから、所さんの笑って人を傷付けることがなく、嫌みが無いんだろうなと思う。

「面倒くさいことに面白いことがいっぱいある。面倒くさいことがやれるって幸せなことなんだよ」とも。

実用日本語表現辞典によると「面倒くさい」は、

「手間や困難さを考えて気が進まない。面倒である。億劫だ。」とある。

面倒くさいと考える裏には、「自分がやらなくても誰かがやるだろう」の意識があると思う。誰かに「面倒くさい」のバトンを渡していること気付いていないのかもしれない。

スタジオジブリの宮崎駿監督は、こんなことを述べている。

面倒くさいって自分の気持ちとの戦いなんだよ

大事なものは、たいてい面倒くさい

氷見市の前教育長はこの言葉をよく引用され、面倒くさいと手を抜かず、大事なことを繰り返し行っていくようにと言われた。

さて、学校は来週から期末考査、そして学期末の成績処理と、大事な時期になる。

大事なものは、面倒くさいけど、手を抜かず、公正公平にしっかりと向き合ってもらいたい。ただ、時間は無限にあるものではない。

時間を効率よく使い、自分自身の健康を損ねることがないように気を付けてほしい。

さてさて、トイレットペーパーの話、あなたは面倒くさいのバトンを次に渡していますか、それとも、神様みたいになっていますか。